

【第1号議案】

【2023年度 事業報告】

➤総会

2023年通常総会

【日時】 2023年6月10日(土)

PM14:00 から 15:00 まで

【場所】 新型コロナウイルス拡散防止のためオンラインとの併用開催

【出席者数】 全正会員数 22名 うち 出席者数 15名(うち委任状出席 10名)

【議案】

第1号議案 2022年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 2023年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 役員選任の件

➤理事会

開催状況

今期は理事会上程の案件が無かった事と、理事各位のスケジュール調整が困難な事もあり、個別に理事の意見を聞くという事で、理事の意見を吸い上げた。

第1回理事会

【日時】 2023年10月17日(火)

【場所】 オンライン会議

【出席者数】 理事 3名(山本、村松、土居)

第2回理事会

【日時】 2024年5月21日(火)

【場所】 オンライン会議

【出席者数】 理事 3名(山本、村松、土居)、監査 1名(堀)

➤事務局会議

スタッフミーティング/インドミーティング開催状況

毎月、スタッフ会議を定例開催した。遠方のスタッフもいるため、オンライン開催と併用で行った。また支援地とのコミュニケーションを増やし協力関係を強固にするため基本毎月、インドスタッフとも会議を実施した。

<課題>

大阪・東京と2拠点でスタッフが点在する形になり、情報共有やオンラインでの意見交換の場を整理する必要があった。4年前より google workplace や slack 等整備してきたため、問題なく円滑に団体運営を進めることはできたが、使い方の整理整頓やレスポンスルールなど共有が重要

➤コミュニケーション (広報)

■事業の概要

現地の様子を伝えること、ニランジャナセワサンガの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動した。

■2023 年度の実績と成果

<実績と成果>

ウェブサイト

HP のリニューアルを年度中に実施することができた。前の HP の情報をまずはベースに作成し、今後情報のアップデートを随時行う予定。また SNS の更新頻度を増加させ、情報発信の強化を図った。

<課題>

- ・ウェブサイトの適時更新
- ・ソーシャルメディアの活用方法
- ・会員様とのコミュニケーション量が不足している

➤支援者サービス

■事業の概要

現地情報や活動の様子をもっと知りたいとの声に応えるために発行回数を年間 2 回実施した。

■2023 年度の実績と成果

<実績>

(1) サポーターへのニュースレター「ニランジャンナ通信」発行

支援者へ現地の子どもの様子や各プロジェクトの進捗状況、イベントのお知らせなどを兼ねたニュースレターを会員及び協力者に向けて発送した。一昨年度からデザインを外部委託していたが事業終了されたため、今年度から Canba (NPO 版) を使用し団体スタッフによる作成となった。

(2) 現地からのクリスマスカード発送

2023 年クリスマスカードと団体ニュースレターを合わせて、支援者のもとに郵送した。

<課題>

サポーターの方々の現地とのつながりや、会員・運営スタッフ同士のつながりの機会を作ることで、より団体や活動に親しみを持っていただく必要がある。

➤スタディーツアー事業

インド・ビハール州ニランジャンナスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

■2023 年度の実績と成果

<実績と成果>

引率スタッフの人員不足により、スタディーツアーは実施できなかった。

➤イベント事業

■事業の概要

イベントへの参加及びブース出店を通し、広く団体の活動を知って貰う。

■2023 年度の実績と成果

<実績と成果>

コロナ禍も明け、徐々にオフラインのイベントが開催されることにより、徐々に外部団体との交流の場が増えている。その結果、新たな支援者や企業団体が増えている。

- I. 生涯学習フェスタ 2023 参加し、ブース出展を行なった。
- II. ワンワールドフェスティバル 2023 参加し、ブース出展を行なった。
- III. 愛地球祭り 2023in 東京、京都参加し、ブース出展を行なった。

➤ 研修・セミナーの開催と参加

①大阪市総合生涯学習センターネットワークサロン

日時 2024年2月17日(土) 14:00~16:00

場所 大阪市総合生涯学習センター

内容 「インドバーチャルツアー」

インドスジャータ村をディベンドラ氏や現地スタッフに案内して頂く。

又その機会に当団体の活動やインドビハール州の状況や教育事情の講演を行った。

②with the world 様とバーチャルツアー企画実施

日時 2023年8月31日

場所 オンライン

内容 with the world 様運営のとも現地学校の子どもたちとオンラインで繋ぎ日本人参加者と交流をした。

➤ 支援地域での活動

インド①➤学校教育

■事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体ニランジャンナトラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給を無料で実施。(一部支払い可能なご家庭は学費や制服の費用を負担)

2003年よりブッダガヤ周辺の17の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに17年間、年間約500名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒンドゥー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざま宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

■2023年度の成果：

・支援地はヒマラヤ山脈からの風により、冬は0度近くまで寒くなる。今年度はイベント出店での収益金やサポート企業様からの協賛金で全生徒に上着を寄付した。学校への通学時はもちろん自宅での防寒対策となり、厳しい冬を乗り越えてもらうことができた。

現在、本校の生徒数は320名。ビームスクールが180名

<課題>

支援地にさまざまな NGO スクールが乱立している。20 年以上続けているパートナースクールでは、村での一定の信頼を得ているため大きな影響は見えないが、今後村のフラグシップ校として、卒業生の追跡や教育の満足度など質の部分を外部から検証、改善案の提示が必要だと考えている。

インド②▶孤児院（ドミトリー）

■2023 年度の状況：

- ・日本からの送金だけではやっていけない為、新規の孤児受け入れは行っていない。

インド③▶スジャータ・アシュラム（女性センター）

■事業の概要

女性の地位の向上に向け、家庭の中でも自信や誇りを持ち、強く生きていけるようにと始まったプロジェクト。2011 年にスジャータ・アシュラムが完成。

裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。

■2023 年度の状況：

チームピースチャレンジャーの支援と生産委託で、仕事としての縫製・収入と技術習得の機会を提供している。今年度は上記団体と連携を深め、イベント出店時に当団体で販売実施

インド④▶植林・有機農業

■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー(森をつくる農業)のモデルケースとなることを目的としたプロジェクト。開始から 7 年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑にて、土作りと再耕作を計画した。

■2023 年度の実績と成果

- ・今年度実施報告なし。

インド⑤▶ウォーターポンプ設置・特別ドネーションの募集

■事業の概要

ニーマ村の水事情が悪く、依然として水を遠方の井戸から運ばなければならない状況となっている。ウォーターポンプ（一口 1 万円）の特別寄付を募集した。

■2023 年度の実績と成果

・今年度ウォーターポンプの設置は行なっていない。今年度は、教科書の入れ替えのため通常運営費に加え教科書購入費を追加で送金を行なった。また冬の登下校時の防寒対策としてニランジャンスクール、BEAMSCHOOL の約 500 名の生徒にセーターの寄付を行なった。

インド⑥▶診療所

■事業の概要

政府の病院では、長時間待つことや、1 人の医師に対する患者数が多いことから質に問題がある。当診療所は、人々の治癒力を向上させるホメオパシー療法を用い、安価な値段で医療を提供している。

■2023 年度の実績と成果

- ・ 数回、訪問診療の実施